

お手紙拜見しました。お名前はまだ前から承知しております。旧著へ人生論については若い時代といつても三十代の前半ですが(の)かつてな放言と戦時中の重圧にたいする抵抗の不十分さとして、恥かしさが先に立ちます。しかし、さいきんそのようなものをまた書いてみないか、話しをみないかと、よくすすめられ、気が持たうございとおりましたので、「人生問答」の件はよろこんでお引き受けしたいと思えます。ついでには、他の方々の原稿が大部分できているようなので、おいそぎのことと思えますが、時日を御指定下さい。

なお、私は二年ほどまえに表記に移轉しました。お目にかかりたいと思えますが、お訪ねには不便なところなので、関係してあります

新読書社(文京区湯島三ノ六)へ、おはこひぬかえれは幸いです。その場所は、都電湯島天神前のすぐ前で、松住所から本郷三丁目の方へおがうてゆく道の右側です。火曜日正午ごろ、水曜日の五時ごろにあります。